

License Administrator

ライセンス管理ツール

マニュアル

(Re:Zolver 用)

【ご注意】

- (1) 本書の内容の一部または、全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について、ご不明な点やお気付きの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 本製品を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本マニュアルに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

©2017 DTS INSIGHT CORPORATION. All rights reserved

Printed in Japan

改訂履歴

版	発行日付	変更内容
第 1 版	2017/06/19	Re:Zolver 用として新規作成
第 2 版	2019/08/27	<ul style="list-style-type: none">・改訂履歴の誤記修正（第 1 版から第 6 版までを削除し、第 7 版を第 1 版に変更）・ Re:Zolver のフローティングライセンス対応に伴う改定

目次

第1章	Re:Zolver のライセンス管理について	3
1.1	ライセンス管理の概要	4
1.1.1	ノードロックライセンス	4
1.1.2	フローティングライセンス	4
1.1.3	ライセンス管理ツール LAY、LASY と動作環境	5
第2章	ライセンス管理ツールのインストールと設定	6
2.1	ノードロックライセンスのインストールと設定	7
2.1.1	Re:Zolver (LAY 含む) のインストール	7
2.1.2	LAY の設定	8
2.2	フローティングライセンスのインストールと設定	10
2.2.1	LASY のインストール	10
2.2.2	Re:Zolver (LAY 含む) のインストール	12
2.2.3	LASY の設定	13
2.2.4	LAY の設定	15
2.3	LAY の起動方法	17
2.3.1	スタートメニューからの起動方法	17
2.3.2	Re:Zolver からの起動方法	17
2.4	LAY の概要	18
2.5	ライセンスのインストール状況確認	19
2.6	ライセンスエラー	20
2.6.1	ライセンスエラー一覧と対策	21
2.7	環境変数を用いたライセンスパス登録	22
2.7.1	設定手順	22
第3章	ライセンス管理ツールの各種操作	23
3.1	ライセンスの更新	24
3.1.1	フローティングライセンスの更新	24
3.1.2	ノードロックライセンスの更新	24
3.2	フローティングライセンスでのサービスの開始・停止と再起動	25
3.3	フローティングライセンスサービスの削除	28
3.4	フローティングライセンスのステータス確認	30
3.5	注意事項 / 制限事項	31
3.5.1	リモートデスクトップでの使用について	31
3.5.2	ライセンスファイルパスについて	31
3.5.3	PC のシステム時刻の変更について	31
3.5.4	フローティングサーバでのポート番号の指定について	32
3.5.5	フローティングサーバでのファイアウォールについて	32

3.5.6	複数のライセンスインストールについて.....	32
3.5.7	環境変数を用いて登録したライセンスパスについて.....	33

第1章 Re:Zolver のライセンス管理について

「ライセンス管理ツールマニュアル(Re:Zolver 用)」は、Re:Zolver をインストールして使用する、すべてのユーザーを対象にしています。

なお、ライセンス管理ツールはD T Sインサイトの Re:Zolver 以外の製品でも使用されています。本マニュアルでは、Re:Zolver を使用する上で必要な情報を主に記載しています。

- ライセンス管理の概要
- ライセンス管理ツールのインストール手順
- ライセンス管理ツールの設定手順
- ライセンスインストール状況の確認方法

1.1 ライセンス管理の概要

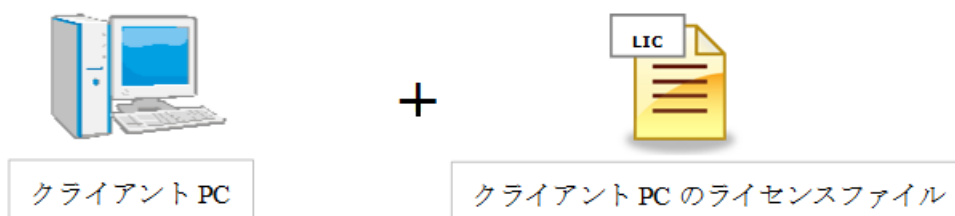
Re:Zolver を使用するには、弊社より提供するライセンスが必要となります。

ご購入いただいたお客様には、弊社より「Re:Zolver ライセンスの取得とインストール」および「ライセンスシート」が送付されます。「Re:Zolver ライセンスの取得とインストール」に記載された手順でソフトウェアの入手とインストールを行い、ライセンス発行に必要な情報を Re:Zolver サポートサイトへご登録ください。弊社サポート部門より、ライセンスファイルを発行させていただきます。

Re:Zolver をご使用になる前に、ライセンス管理ツールのインストールとライセンスの登録をする必要があります。ライセンス形態はノードロックライセンスとフローティングライセンスがあります。

1.1.1 ノードロックライセンス

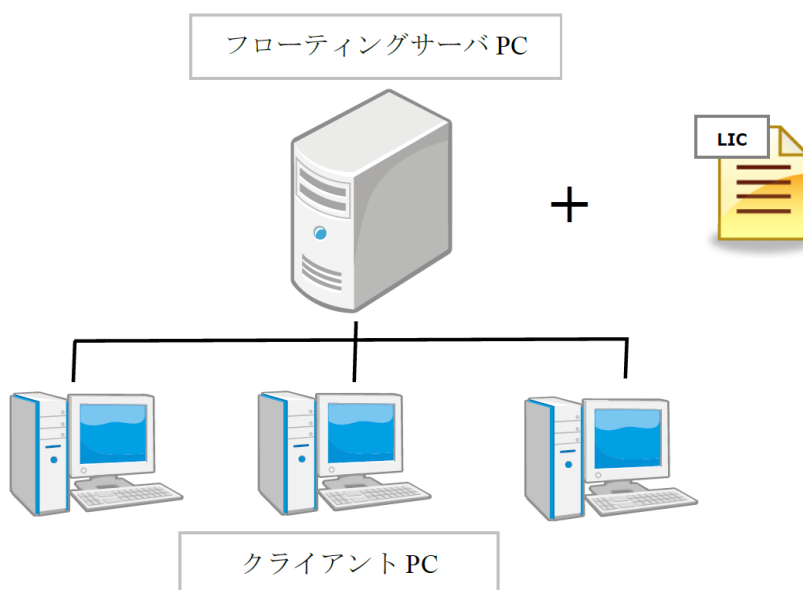
ノードロックライセンスは、Re:Zolver を動作させる PC 上で認識できる HDD ボリュームシリアル番号に対して付与されます。



1.1.2 フローティングライセンス

フローティングライセンスは、ライセンスを管理するためのフローティングサーバ PC を準備し、そのサーバ PC の MAC アドレス(イーサネットアドレス)に対して、ライセンスが付与されます。

Re:Zolver を動作させる各クライアント PC はフローティングサーバ PC へライセンス認証要求を行うことで、Re:Zolver を起動して使用することができます。



1.1.3 ライセンス管理ツール LAY、LAS Y と動作環境

ライセンス管理ツールには、License Administrator for YDC (以下 LAY) と、License Administration Server for YDC (以下 LAS Y) があります。

(1) License Administrator for YDC (LAY)

Re:Zolver を動作させるクライアント PC 上で、ライセンスを管理するツールです。ノードロックライセンスとフローティングライセンスの両方のライセンス形態で必要になります。

[動作環境]

対応 OS	Windows 7 (Professional, Enterprise, Ultimate Edition) 32bit/64bit版 Windows 10 (Pro, Enterprise) 32bit/64bit 版 日本語版
-------	--

(2) License Administration Server for YDC (LAS Y)

フローティングサーバ PC 上で動作し、Re:Zolver を動作させるクライアント PC からのライセンス取得要求に対して、ライセンス数の管理、ライセンス期限の管理などを行う、サーバ向けのライセンス管理ツールです。フローティングライセンスのライセンス形態で必要になります。

[動作環境]

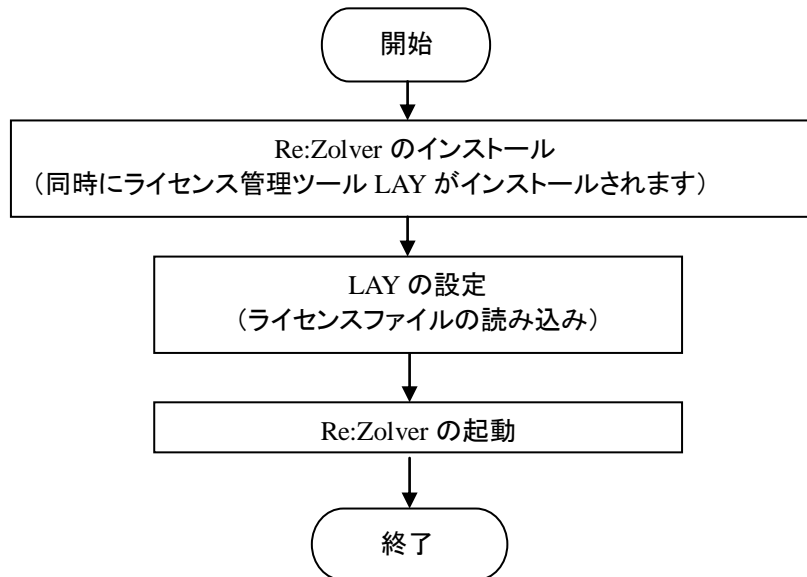
対応 OS	Windows Vista (HomePremium, Business) 32bit/64bit版 Windows 7 (HomePremium, Professional) 32bit/64bit版 Windows 8.1 32bit/64bit 版 日本語版 Windows 10 32bit/64bit 版 日本語版 Windows Server 2003 32bit 版 Windows Server 2008 32/64bit 版 Windows Server 2012/2012 R2 64bit 版 Windows Server 2016 64bit 版
通信	Ethernet 通信ポート

第2章 ライセンス管理ツールのインストールと設定

Re:Zolver をインストールして使用するには、以下の手順に従い、ライセンス管理ツールをインストールしてライセンスの設定を行います。

2.1 ノードロックライセンスのインストールと設定

ノードロックライセンスで Re:Zolver を使用するには、下記の手順に従いインストールと設定を行ってください。



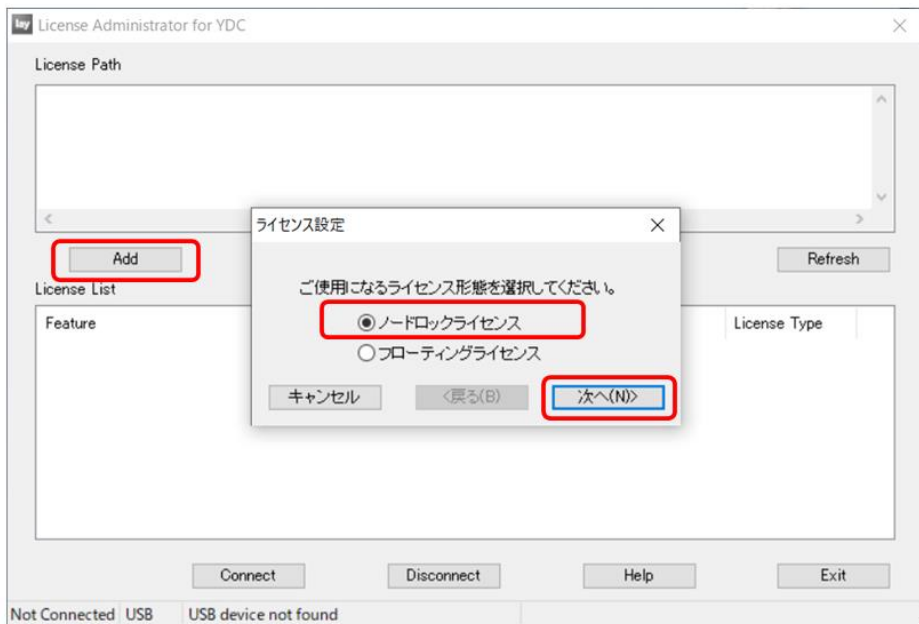
2.1.1 Re:Zolver (LAY 含む) のインストール

Re:Zolverを使用するPC上で、Re:Zolverのインストーラファイルを起動してください。

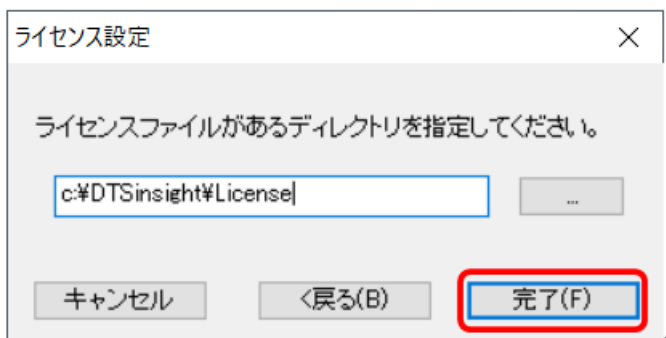
Re:Zolverのインストーラファイルの例) RRA000_REV301.exe

2.1.2 LAY の設定

- (1) 取得したライセンスファイルをクライアント PC の任意のフォルダに保存します。
- (2) ライセンス管理ツール “License Administrator for YDC” を起動します。
起動方法については【LAY の起動方法】を参照してください。
- (3) Add ボタンを押して、使用するライセンス形態で[ノードロックライセンス]を選択してください。

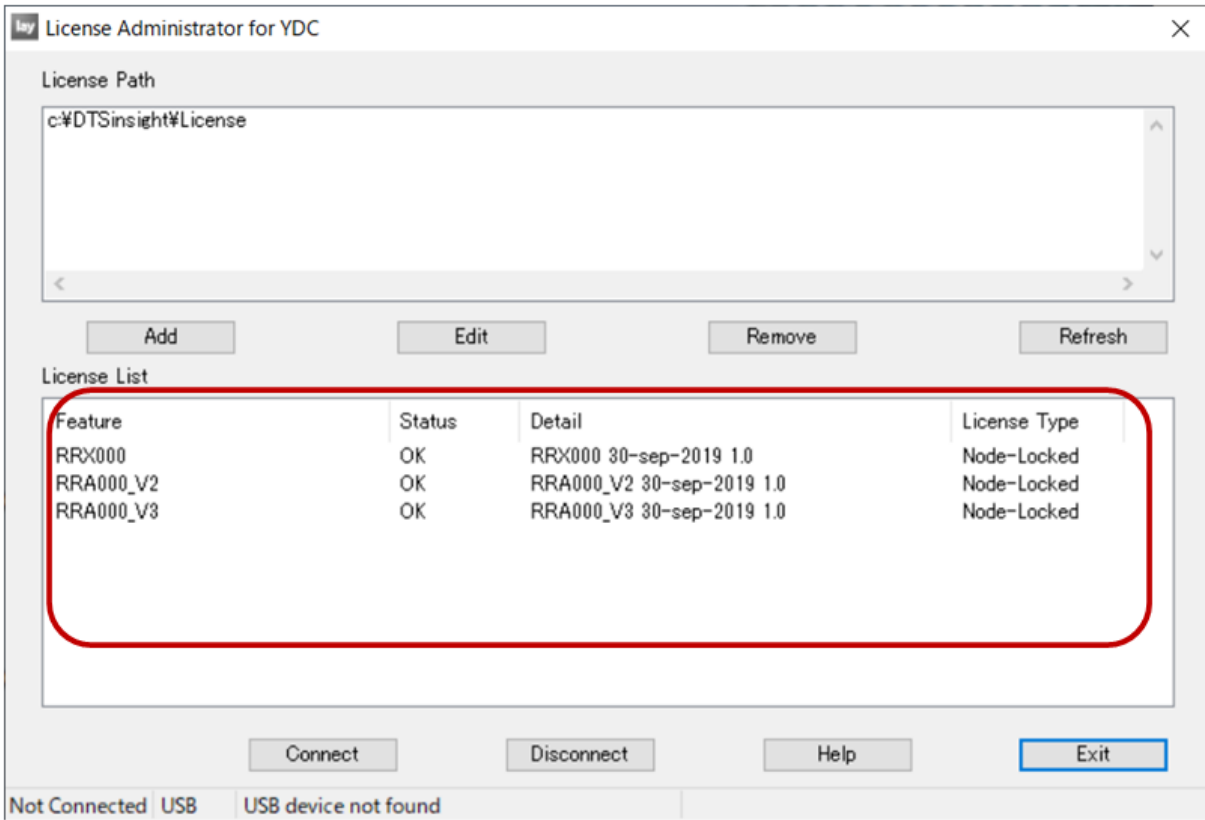


- (4) ライセンスファイルを保存したフォルダを指定します。
(ここでは例として、“C:\DTSinsight\License”フォルダとします。)



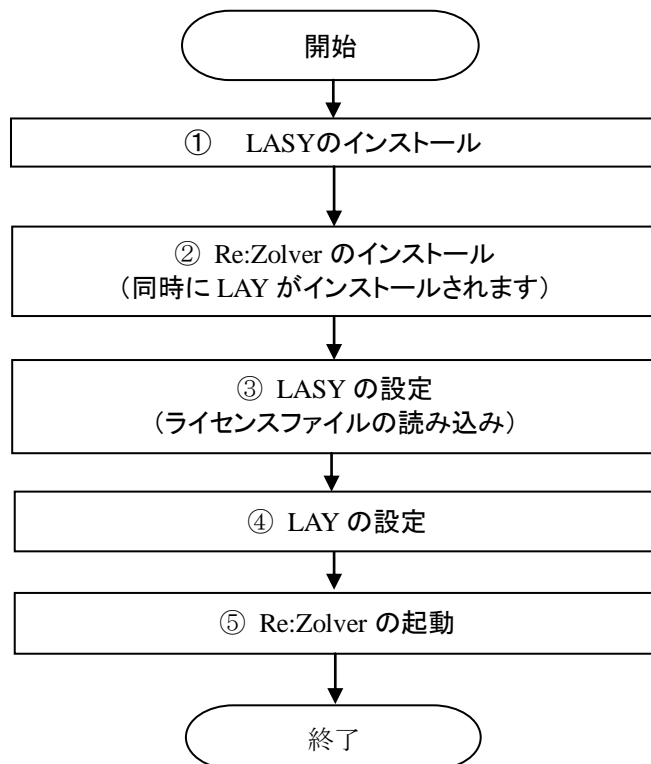
- (5) 設定を完了すると、LAY のダイアログに以下が表示されます。
 - License Path: ライセンスファイルのパス
 - License List: ライセンスのステータス

ライセンスのステータスの詳細は【LAY の起動方法】を参照してください。



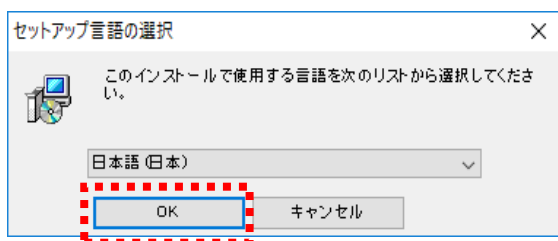
2.2 フローティングライセンスのインストールと設定

フローティングライセンスで Re:Zolver を使用するには、以下の手順に従いインストールと設定を行ってください。

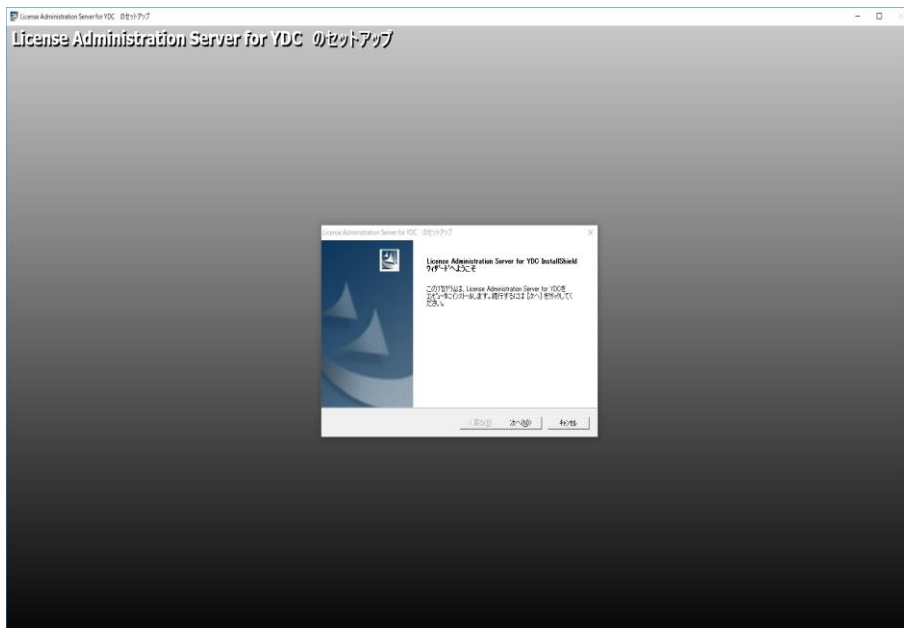


2.2.1 LASY のインストール

- (ア) Re:ZolverサポートサイトからLASYのインストールパッケージをダウンロードします。
- (イ) ライセンスサーバとして使用するPC上で、LASYのインストールパッケージを解凍し、Setup.exeファイルを起動してください。
- (ウ) インストール中に表示される言語を指定します。日本語を選択し[OK]ボタンをクリックしてください。



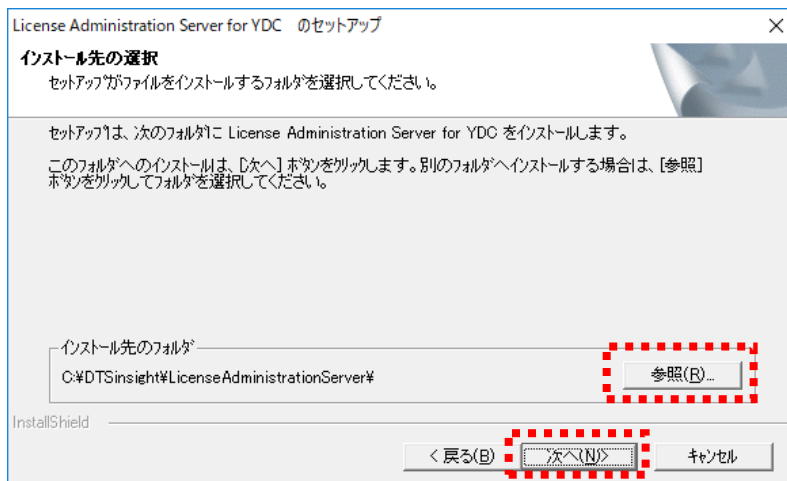
- (エ) LASYのインストールを開始します。[次へ]ボタンをクリックしてください。



(オ) LASYのインストールフォルダを指定します。デフォルトは以下のとおりです。

C:\¥DTSinsight¥LicenseAdministrationServer

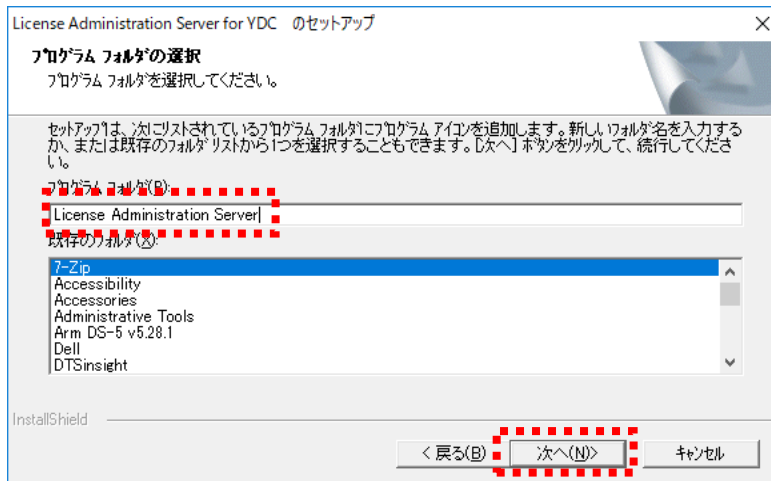
変更する場合は[参照]ボタンをクリックしてフォルダを選択してください。



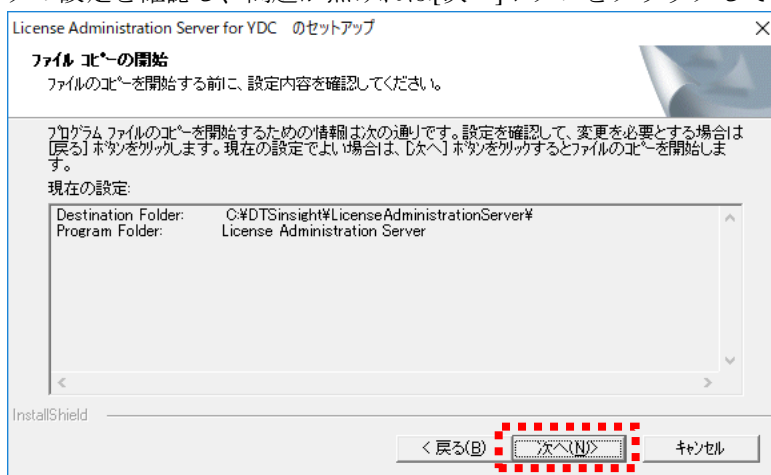
※ LASYのインストールフォルダのパスには、2バイト文字とスペースを含めないでください。ライセンス管理ツールが正しく機能しません。

(カ) LASYのプログラムアイコンを追加するプログラムフォルダを指定してください。

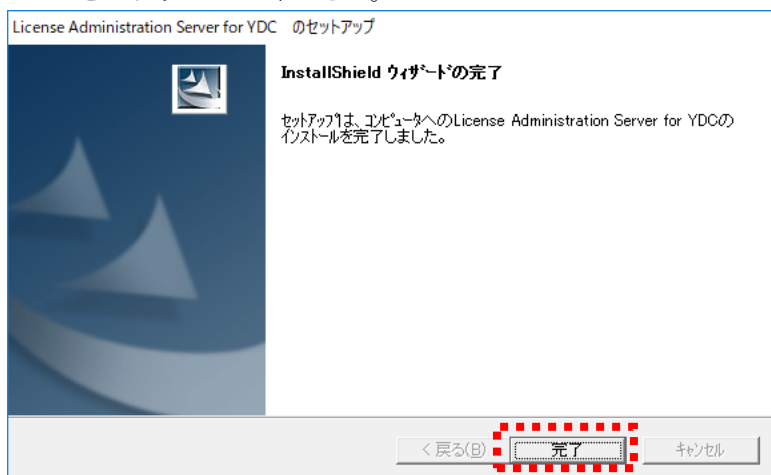
デフォルトはスタートメニューの[DTSinsight]配下に「License Administration Server」フォルダを作成します。



(キ) フォルダの設定を確認し、問題が無ければ[次へ]ボタンをクリックしてください。



(ク) [完了]ボタンをクリックしてください。



2.2.2 Re:Zolver (LAY 含む) のインストール

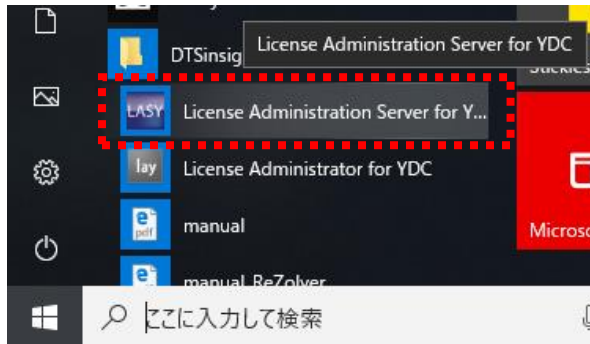
Re:Zolverを使用するPC上で、Re:Zolverのインストーラファイルを起動してください。

Re:Zolverのインストーラファイルの例) RRA000_REV301.exe

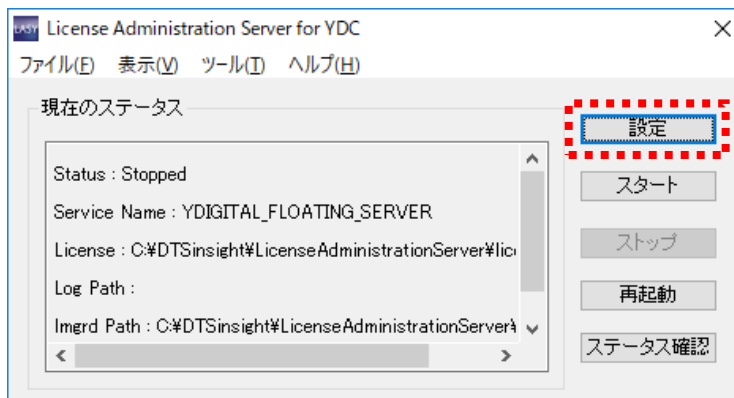
2.2.3 LASY の設定

フローティングサーバ PC 上で LASY を起動して、フローティングライセンスを設定します。
以下の手順に従い、フローティングライセンスを設定します。

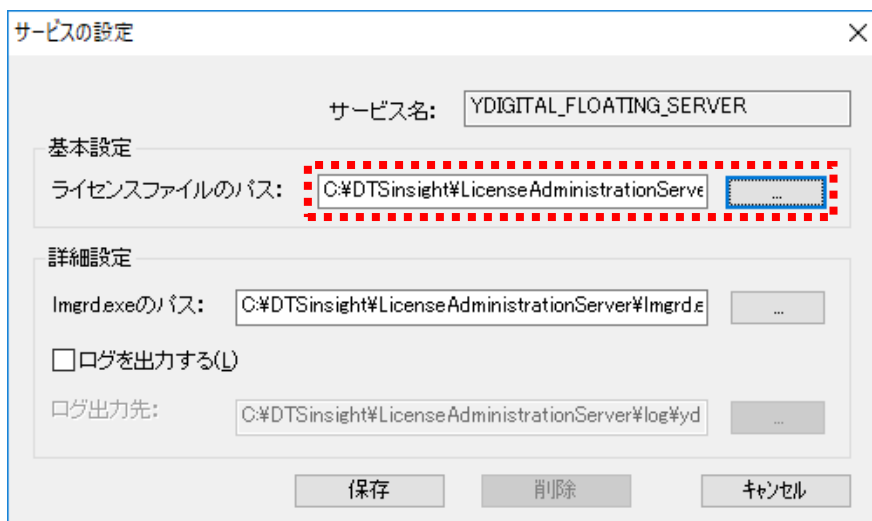
- (ア) フローティングサーバ PC のスタートメニューから [DTSinsight>License Administration Server>License Administration Server for YDC] を選択し、LASY を起動します。



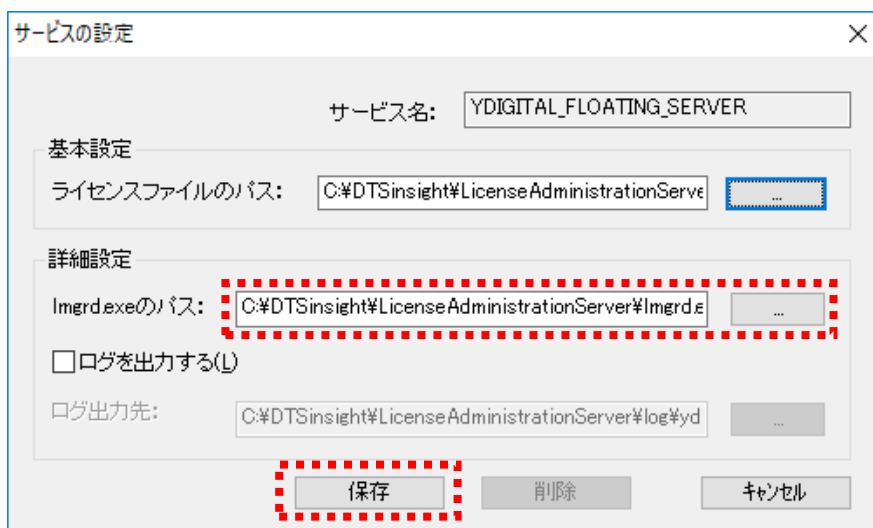
- (イ) 「設定」 ボタンをクリックして、サービスの設定ダイアログを開いてください。



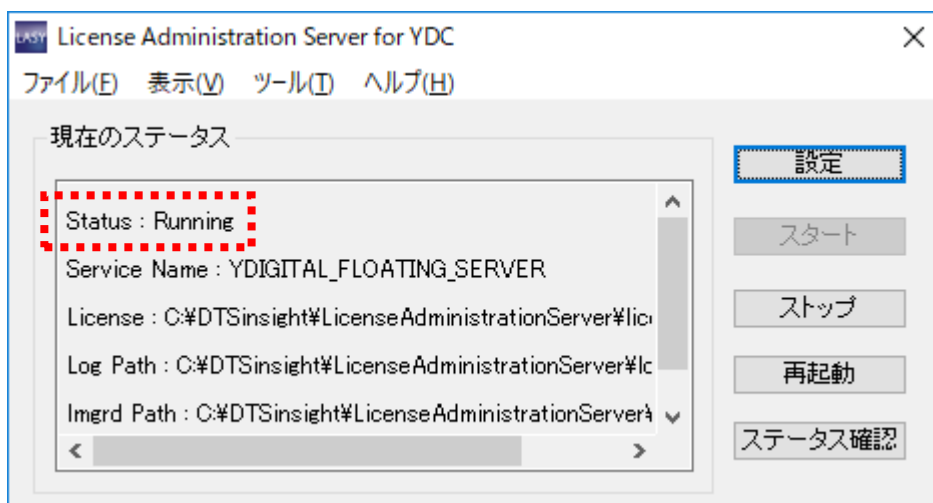
- (ウ) 「ライセンスファイルのパス」にライセンスファイルが格納されているフォルダを指定します。



- (エ) ライセンスサーバのサービスとして動作するImgrd.exeのパスを設定します。設定が完了したら [保存] ボタンをクリックしてください。
(通常はLASYSをインストールしたフォルダにあるファイルを指定してください。)



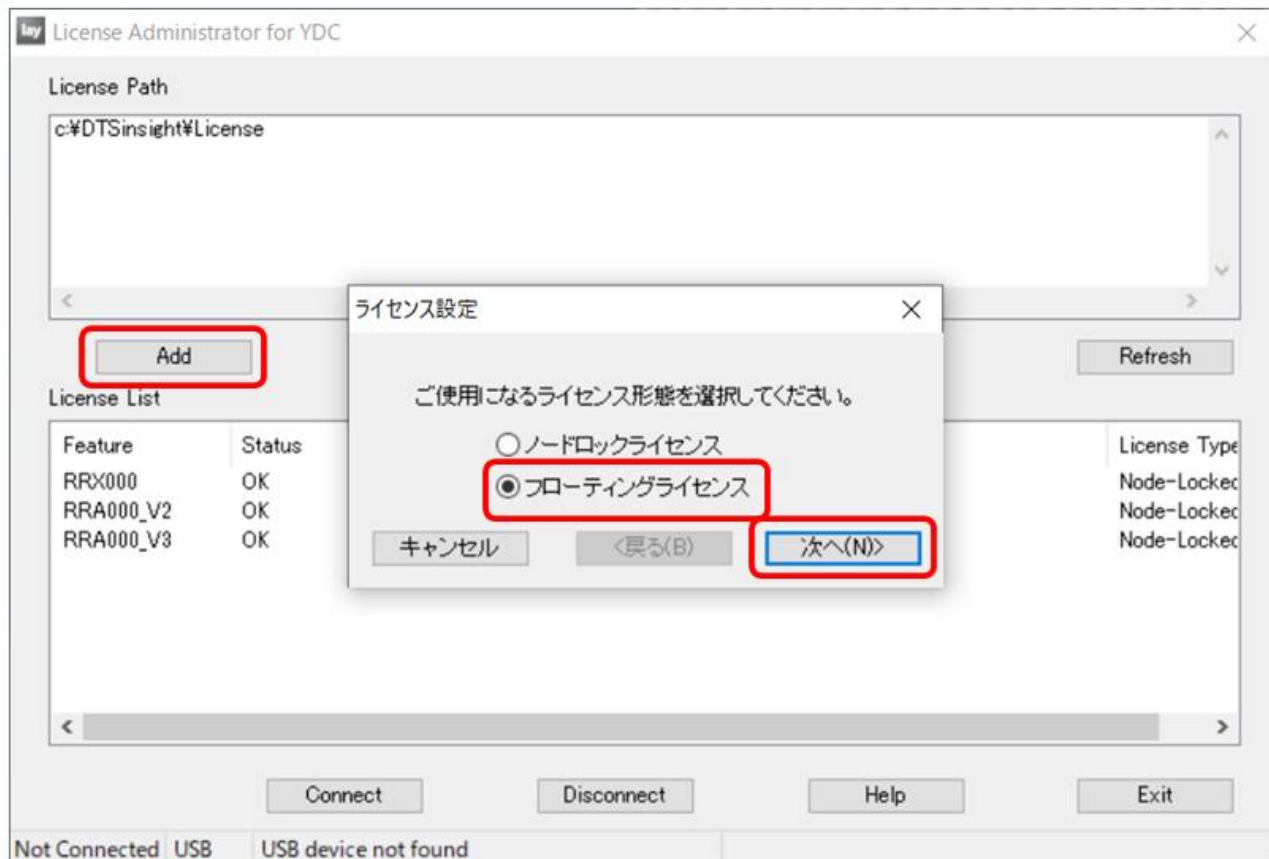
- (オ) サービスの設定ダイアログで[保存]ボタンをクリックすると、ライセンス管理サービスが実行され、ステータスダイアログに戻ります。サービスが実行されると、現在のステータスに[Status : Running]と表示されます。
LASYS の終了後も、サービスは実行し続けますので、フローティングライセンス機能は有効のままです。



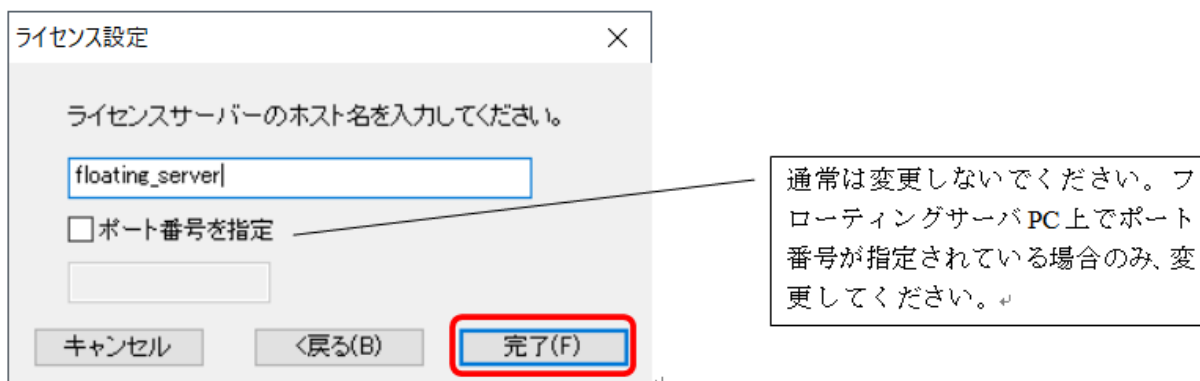
2.2.4 LAY の設定

(1) クライアント PC 上で、ライセンス管理ツール“License Administrator for YDC”を起動します。
起動方法については【LAY の起動方法】を参照してください。

(2) Add ボタンを押して、使用するライセンス形態で[フローティングライセンス]を選択してください。



(3) フローティングライセンスサーバのホスト名を指定します。
(ここでは例として、“floating_server”とします。)



(4) 設定が終わると、現在有効なライセンスが表示されます。
詳細は【ライセンスのインストール状況確認】を参照してください。

License Administrator for YDC

License Path

@floating_server
c:%DTSinsight%License

Add Edit Remove Refresh

License List

Feature	Status	Detail	License Type
RRH002-F	OK	RRH002-F 30-sep-2019 1.0	Floating
RRH001-F	OK	RRH001-F 30-sep-2019 1.0	Floating
RRH000-F	OK	RRH000-F 30-sep-2019 1.0	Floating
RRX000	OK	RRX000 30-sep-2019 1.0	Node-Locked
RRA000_V2	OK	RRA000_V2 30-sep-2019 1.0	Node-Locked
RRA000_V3	OK	RRA000_V3 30-sep-2019 1.0	Node-Locked

Connect Disconnect Help Exit

Not Connected USB USB device not found

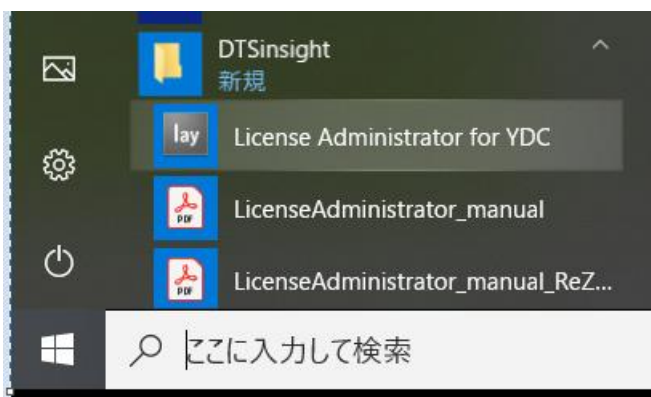
2.3 LAY の起動方法

ソフトウェアライセンスのインストール、ライセンス状況の確認を行うには、ライセンス管理ツール“License Administrator for YDC”を使用します。

2.3.1 スタートメニューからの起動方法

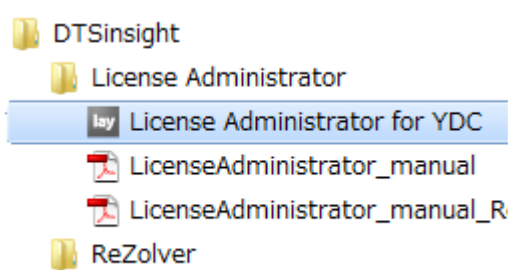
Windows10 の場合：

Windows の[スタート]メニュー[DTSinsight]—[License Administrator for YDC]を起動します。



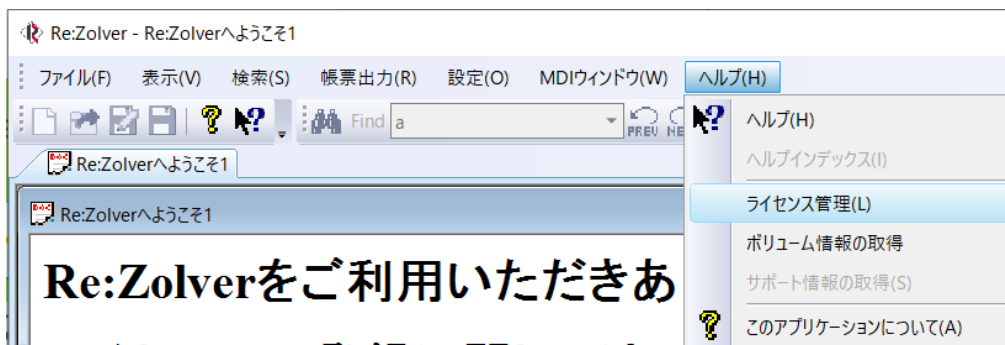
Windows7 の場合：

Windows の[スタート]メニュー[DTSinsight]—[License Administrator] —[License Administrator for YDC]を起動します。



2.3.2 Re:Zolver からの起動方法

Re:Zolver の[ヘルプ]メニュー[ライセンス管理(L)]より起動します。



2.4 LAY の概要

ライセンス管理ツール “License Administrator for YDC” を起動します。
起動方法については【LAY の起動方法】を参照してください。

The screenshot shows the 'License Administrator for YDC' window. It features a 'License Path' field containing 'C:\DTSinsight\LicenseAdministrator', a 'License List' table, and a bottom control bar with 'Connect', 'Disconnect', 'Help', and 'Exit' buttons. The 'License List' table is as follows:

Feature	Status	Detail	License Type
RRX000	OK	RRX000 30-sep-2019 1.0	Node-Locked
RRA000_V2	OK	RRA000_V2 30-sep-2019 1.0	Node-Locked
RRA000_V3	OK	RRA000_V3 30-sep-2019 1.0	Node-Locked

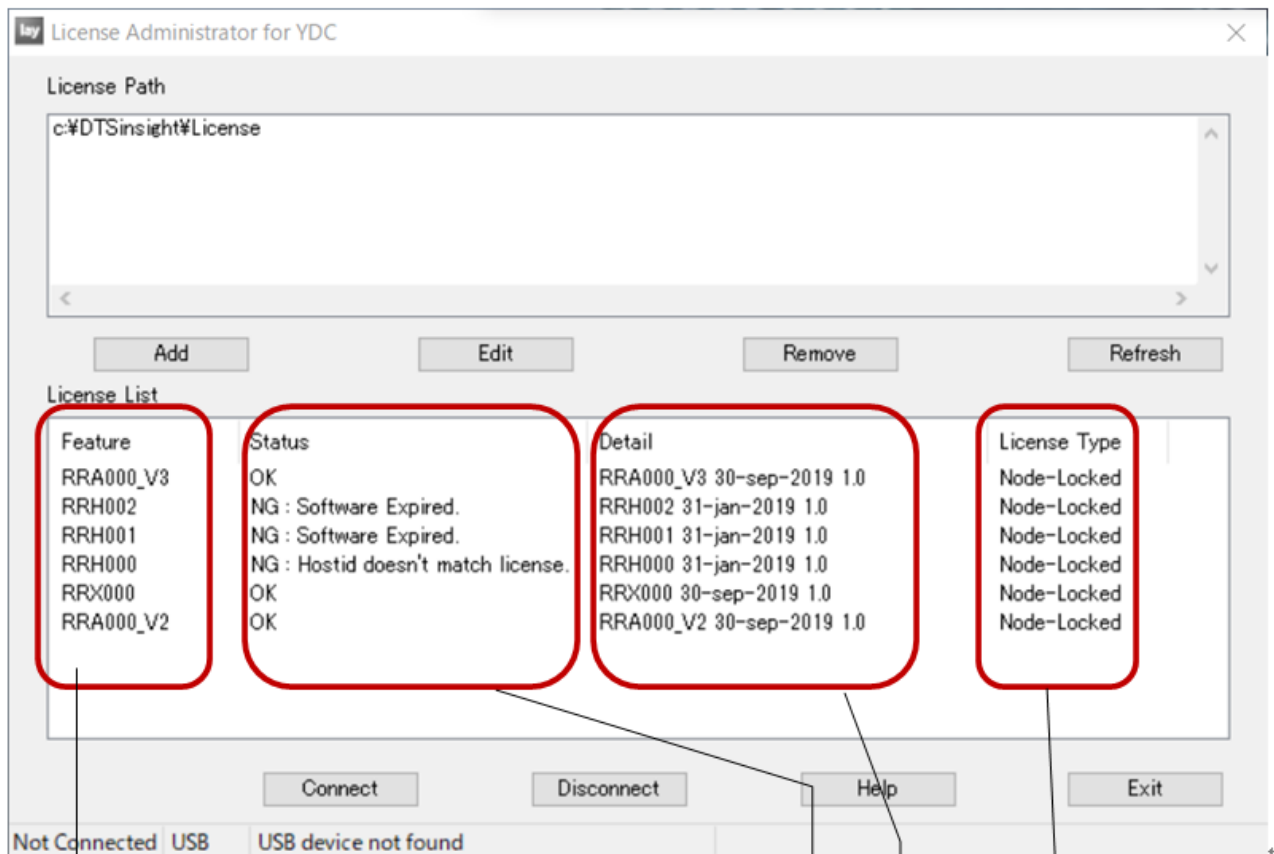
Callout boxes provide the following descriptions:

- 登録したライセンスのディレクトリ及びフローティングサーバのホスト名がリスト表示されます。
- ライセンスをインストールします。
- インストールしたライセンスのパスを編集します。
- 選択したライセンスのパスを削除します。
- 登録したライセンスの情報を更新します。
- 現在登録したライセンスパスの中の情報がリスト表示されます。
- 本ツールを終了します。

※JTAG ICE デバッグツールなど Re:Zolver 以外のDTSインサイト製品用です。
Re:Zolver のライセンス管理では使用しないでください。

2.5 ライセンスのインストール状況確認

ライセンス管理ツールを起動して、ライセンスのインストール状況を確認することができます。



ライセンスキー、名称が表示されます。
何も表示されない場合は、以下を確認してください。
・ライセンスファイルのパス設定
・ライセンスファイルの所在

ライセンスステータスが表示されます。
“OK”： ライセンス有効状態
“NG”： ライセンス無効状態
※“NG”の場合、NG: に続くエラーメッセージの詳細は
[ライセンスエラー一覧と対策]を参照してください。

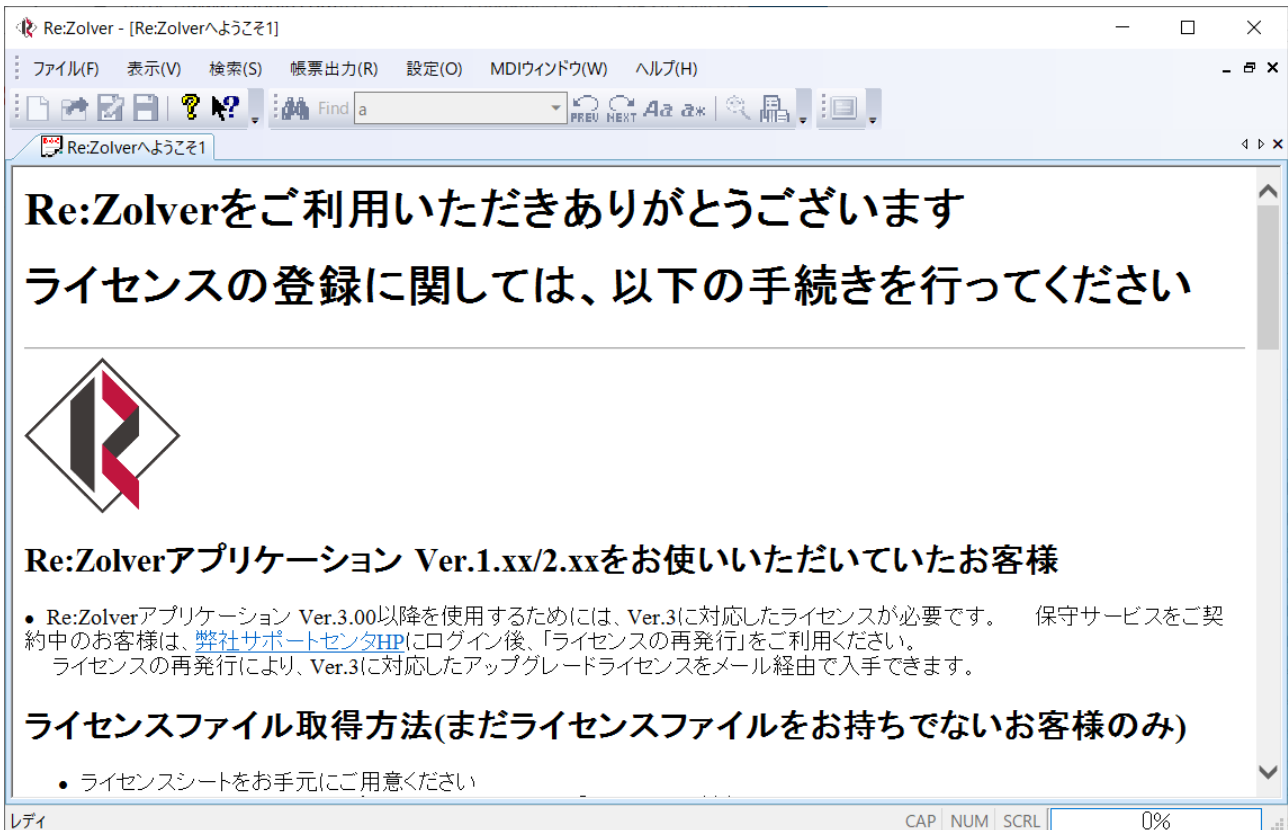
詳細情報が表示されます。
期限付きライセンスの場合は日付が表示されます。

ライセンスの種類が表示されます。
“Node-Locked”： ノードロックライセンス
“Floating”： フローティングライセンス

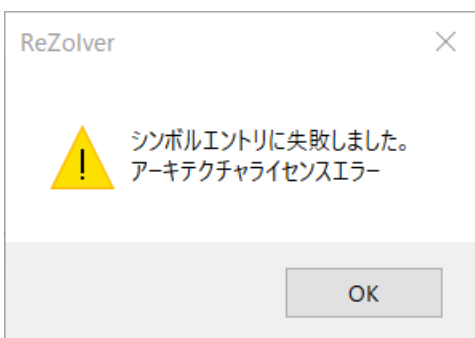
2.6 ライセンスエラー

ライセンスが正しくインストールされていないと、Re:Zolver 使用時にライセンスエラーが発生します。

<Re:Zolver 起動時のライセンスエラー表示例>



<Re:Zolver でオブジェクトファイル解析時のライセンスエラー表示例>



ライセンスエラーが発生した場合、ライセンス管理ツールを起動してライセンス状況を確認してください。起動方法については【LAYの起動方法】を参照してください。

2.6.1 ライセンスエラー一覧と対策

エラー番号/メッセージ	原因	対策
Hostid doesn't match license.	*ライセンスファイルに記述されている HDD ボリュームシリアル番号と、PC 上の HDD ボリュームシリアル番号が一致しません。	ライセンスファイルが使用している PC の情報と一致するかどうか確認してください。
Software Expired.	ライセンス有効期限が切れています。	ライセンスファイルを更新してください。
Error occurred.(error code = -8) Error occurred.(error code = -88)	過去に Windows の日付と時刻が変更された可能性があります。	Windows の日付と時刻を正しく設定されているかどうか確認してください。 正しく日付を設定した状態で表示される場合は、弊社サポートセンタまでお問い合わせください。
Error occurred.(error code = -103)	Windows のリモートデスクトップ機能を使用してアプリケーションが起動されています。	リモートデスクトップを使用してアプリケーションを起動することはできません。リモートデスクトップを使用せず、アプリケーションを使用してください。 リモートデスクトップを使用していない状態で表示される場合は、弊社サポートセンタまでお問い合わせください。

2.7 環境変数を用いたライセンスパス登録

ライセンスパスに登録するライセンスのディレクトリ及びフローティングサーバのホスト名を、環境変数で指定することができます。

これにより、一つの PC を複数のユーザーアカウントで使用するような場合に、管理者が一度環境変数を指定すれば、各ユーザーはINI ファイルを置くだけで環境変数からライセンスパスを登録することができます。

2.7.1 設定手順

- (1) 下記のシステム環境変数を新規追加します。

変数名 **YDIGITAL_LICENSE_FILE**

変数値 ライセンスのディレクトリ及びフローティングサーバのホスト名

※複数ある場合は“;” (セミコロン)区切りで指定してください。

例) C:¥DTSinsight¥license;@127.0.0.1

- (2) テキストエディタで INI ファイル “lay.ini” を作成します。

lay.ini

```
[config]
```

```
USE_ENV_PATH=TRUE
```

TRUE…環境変数のライセンスパスを使用する

FALSE…環境変数のライセンスパスを使用しない

※“lay.ini”が、LAY.exe と同じ場所 (デフォルトは C:¥DTSinsight¥LicenseAdministrator) にすでに存在する場合は、ファイルを追加で作成する必要はありません。

すでに存在する“lay.ini”をテキストエディタで開き、[config]セクションに USE_ENV_PATH=TRUE を追記してください。

“lay.ini”内に[config]セクションがない場合は、[config]と USE_ENV_PATH=TRUE を追記してください。

- (3) LAY.exe と同じ場所 (デフォルトは C:¥DTSinsight¥LicenseAdministrator) に、“lay.ini” を置きます。

- (4) ライセンス管理ツール “License Administrator for YDC” を起動すると、環境変数に設定したライセンスパスを用いてライセンス認証が行われます。起動方法については【LAY の起動方法】を参照してください。

第3章 ライセンス管理ツールの各種操作

ライセンスサーバ用管理ツールの **LASY** と、クライアント用管理ツールの **LAY** の操作に関して説明します。

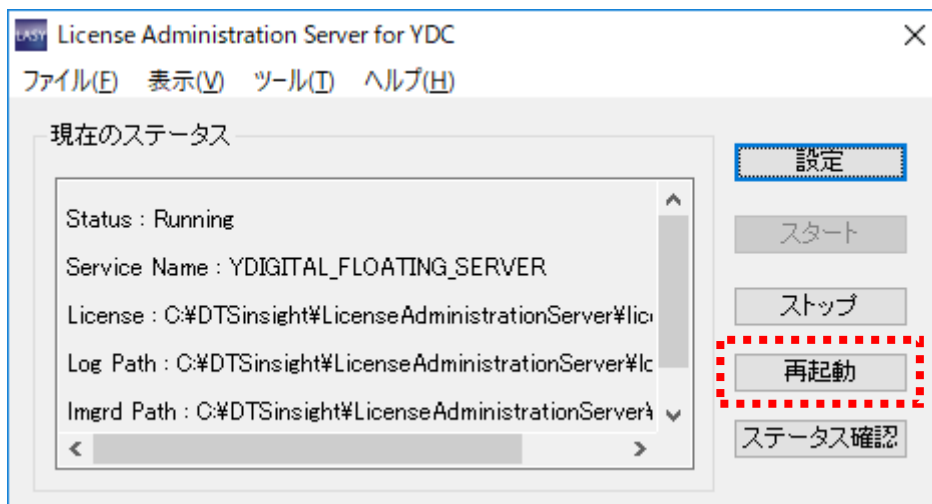
3.1 ライセンスの更新

Re:Zolver のライセンス数の追加や、オプション機能のライセンスを購入した場合には、ライセンス管理ツールへのライセンスファイルの更新が必要になります。

LASY と LAY での操作に関して以下に説明します。

3.1.1 フローティングライセンスの更新

- ① 更新・追加するライセンスファイルを” LASY”で設定したライセンスフォルダに保存します。
- ② フローティングサーバのスタートメニューから [DTSinsight>License Administration Server>License Administration Server for YDC]を選択してLASYを起動します。
- ③ [再起動] ボタンをクリックします。



- ④ 再起動後、ライセンスの更新・追加が完了すると現在のステータスに[Status : Running] と表示されます。

3.1.2 ノードロックライセンスの更新

” LAY”を起動し、License Path に設定したフォルダを確認します。

License Path に設定したフォルダに更新・追加するライセンスファイルを保存します。

” LAY” で” Refresh”ボタンを押します。

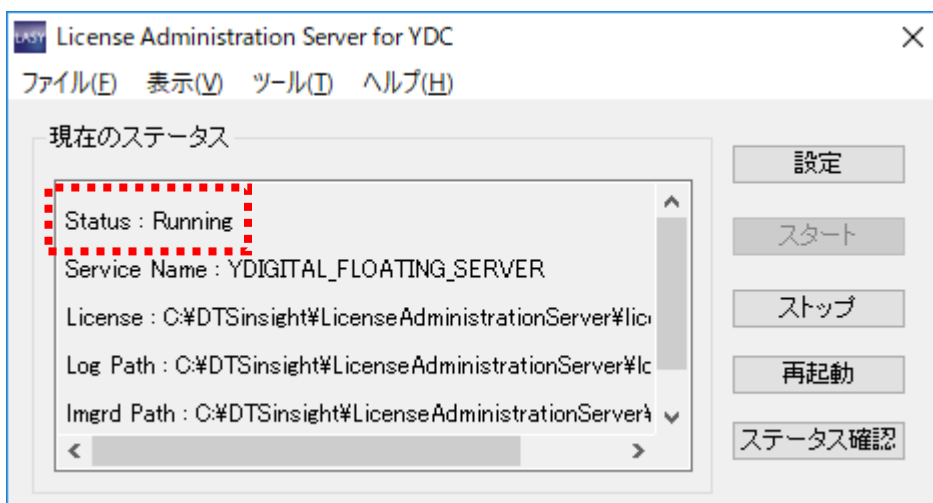
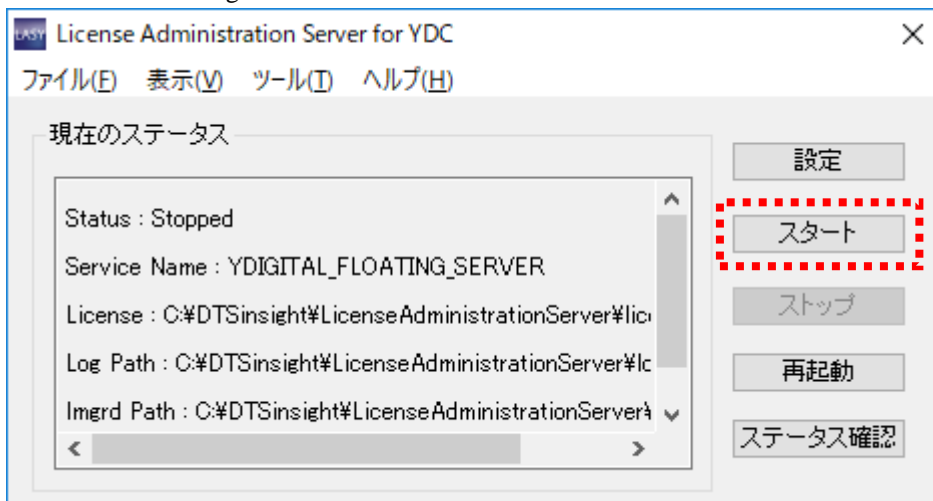
追加するライセンスファイルを” LAY”の License Path に設定されているフォルダと異なるフォルダに保存する場合は、「2.1. ノードロックライセンスのインストールと設定」の「2.1.2 LAY の設定」を参考にしてください。

3.2 フローティングライセンスでのサービスの開始・停止と再起動

インストールしたフローティングライセンスのサービスを停止や開始したい場合の手順を以下に記述します。

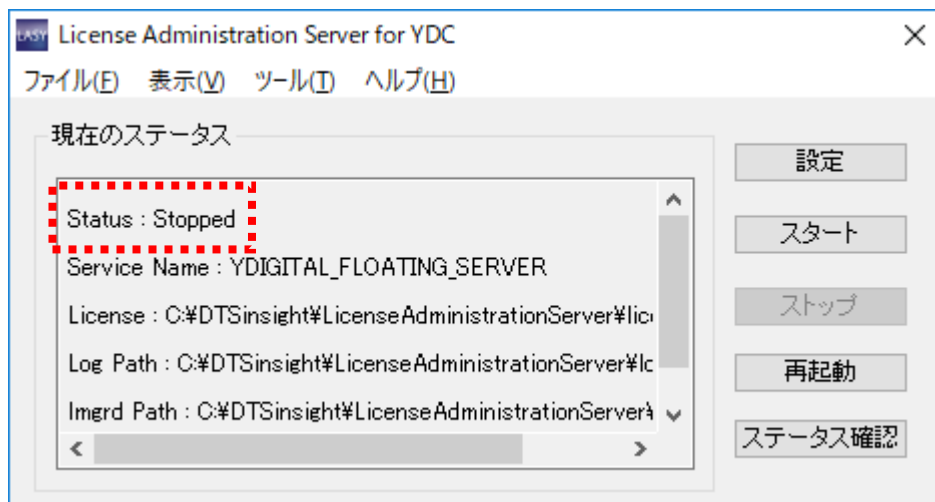
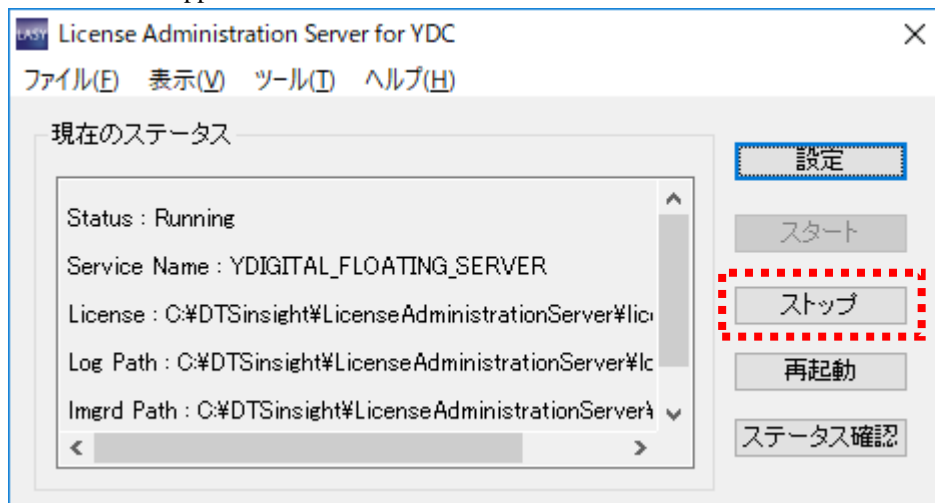
基本的には、フローティングライセンスのサービスは常時起動している状態にしておきます。

- ① フローティングサーバのスタートメニューから [DTSinsight>License Administration Server>License Administration Server for YDC]を選択し、LASYSを起動します。
- ② 停止している状態のサービスを開始する場合は、[スタート] ボタンをクリックします。現在のステータスが「Status : Running」と表示されます。

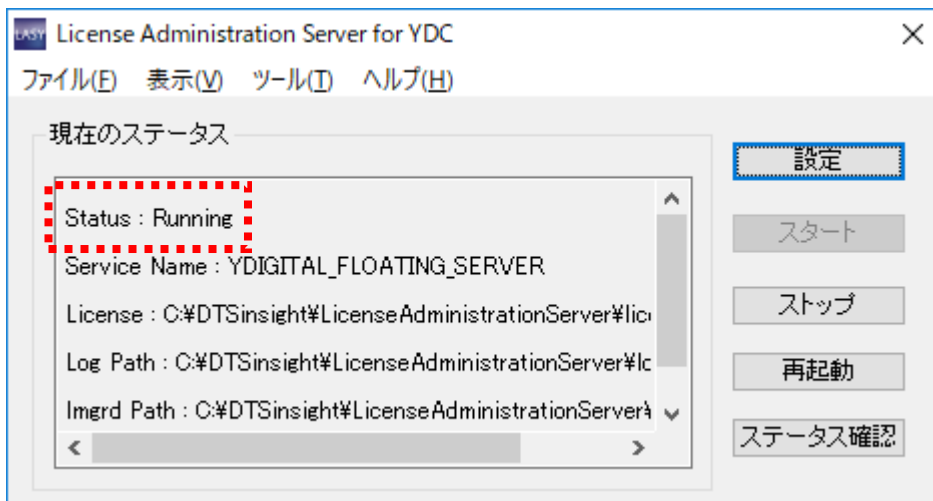
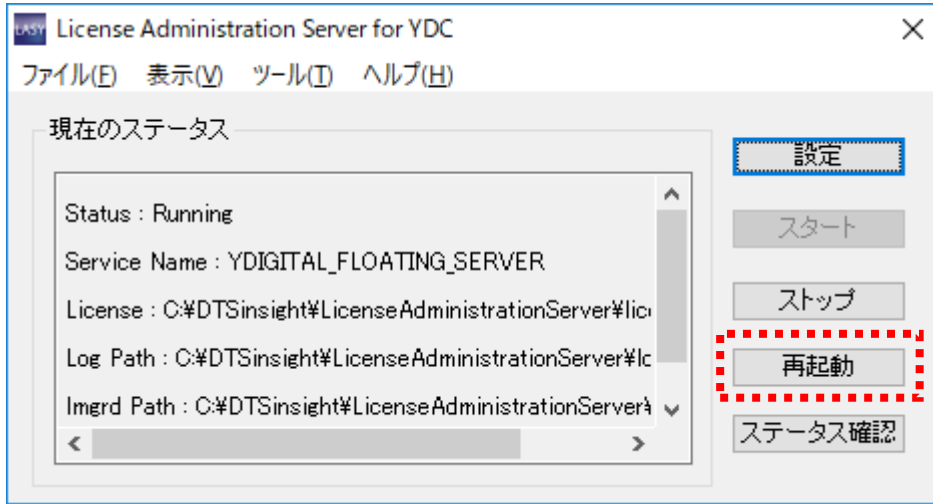


- ③ 起動している状態のサービスを停止する場合は、[ストップ] ボタンをクリックします。現在のステータスが

「Status : Stopped」と表示されます。



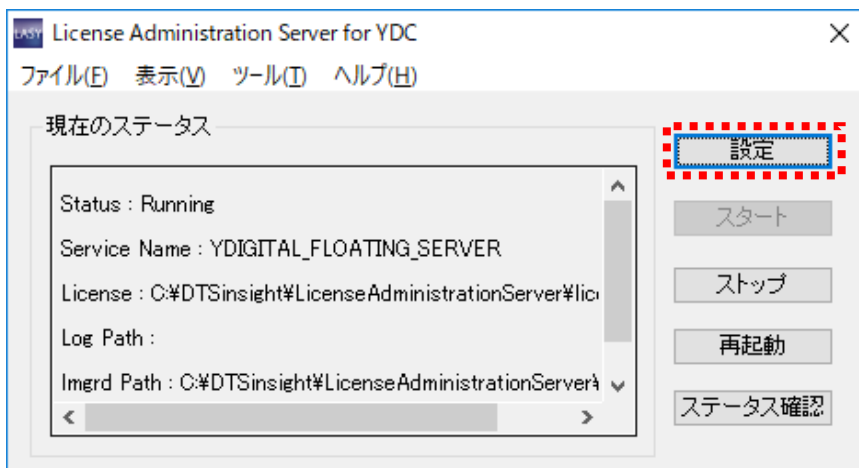
- ④ フローティングライセンスのサービスを再起動できます。サービスが開始している場合は、一度停止して開始します。サービスが停止している場合は、サービスを開始する動作と同じになります。
- [再起動] ボタンをクリックします。現在のステータスが「Status : Running」と表示されます。サービスの再起動は、ライセンスの更新やログファイルの出力設定を行った場合などに実施します。



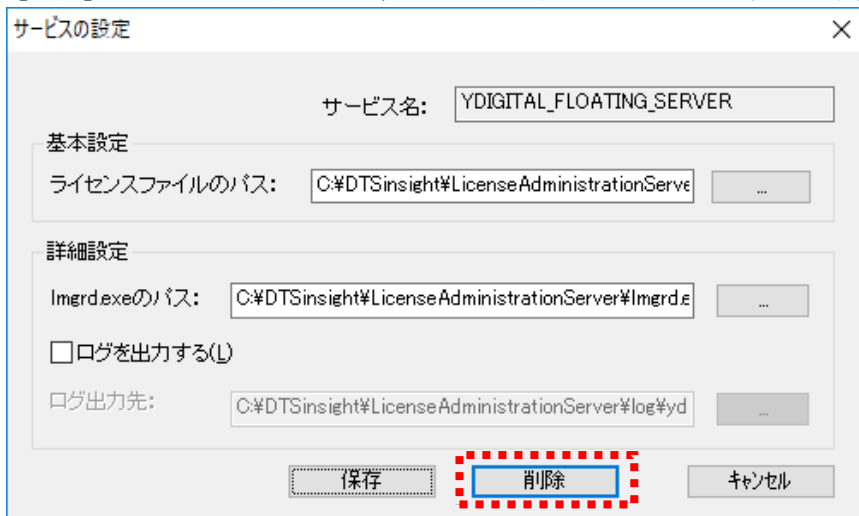
3.3 フローティングライセンスサービスの削除

ライセンス管理ツールをアンインストールする場合は、インストールされているライセンスサービスを削除する必要があります。LASYS をアンインストールする前に以下の手順で、ライセンスサービスを削除してください。

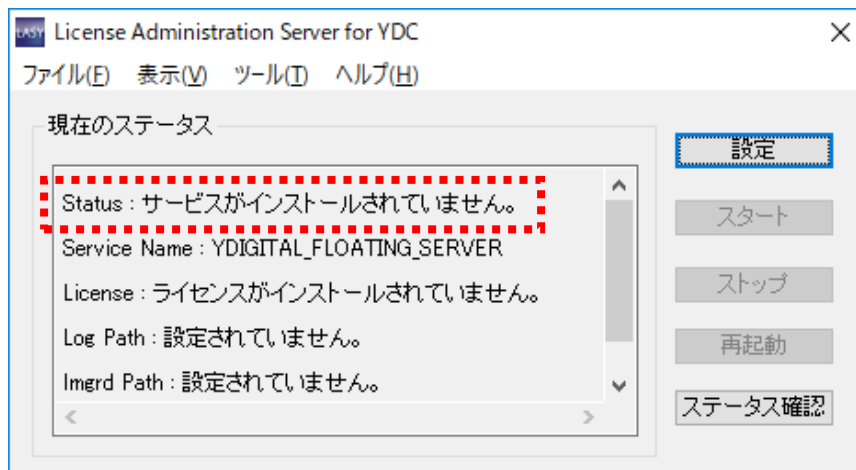
- ① フローティングサーバのスタートメニューから [DTSinsight>License Administration Server>License Administration Server for YDC]を選択し、LASYSを起動します。
- ② [設定] ボタンをクリックして、サービスの設定ダイアログを開きます。



- ③ [削除] ボタンをクリックして、サービスの設定ダイアログを閉じます。



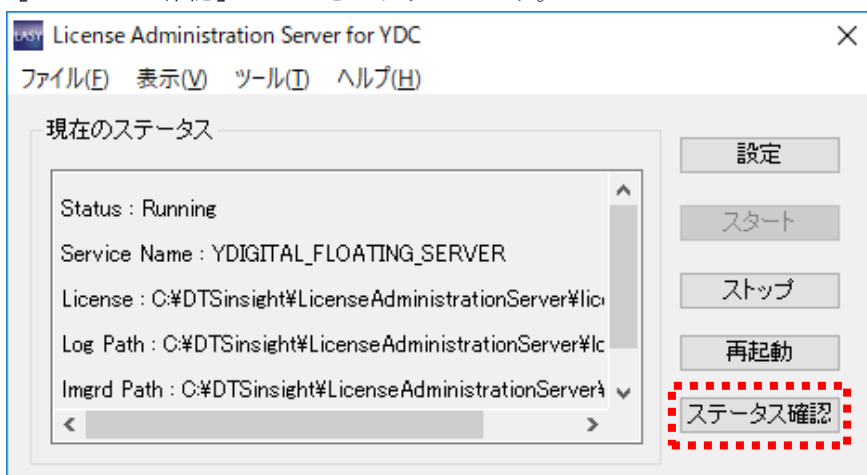
- ④ サービスが削除され、現在のステータスに[Status : サービスがインストールされていません。] と表示されます。



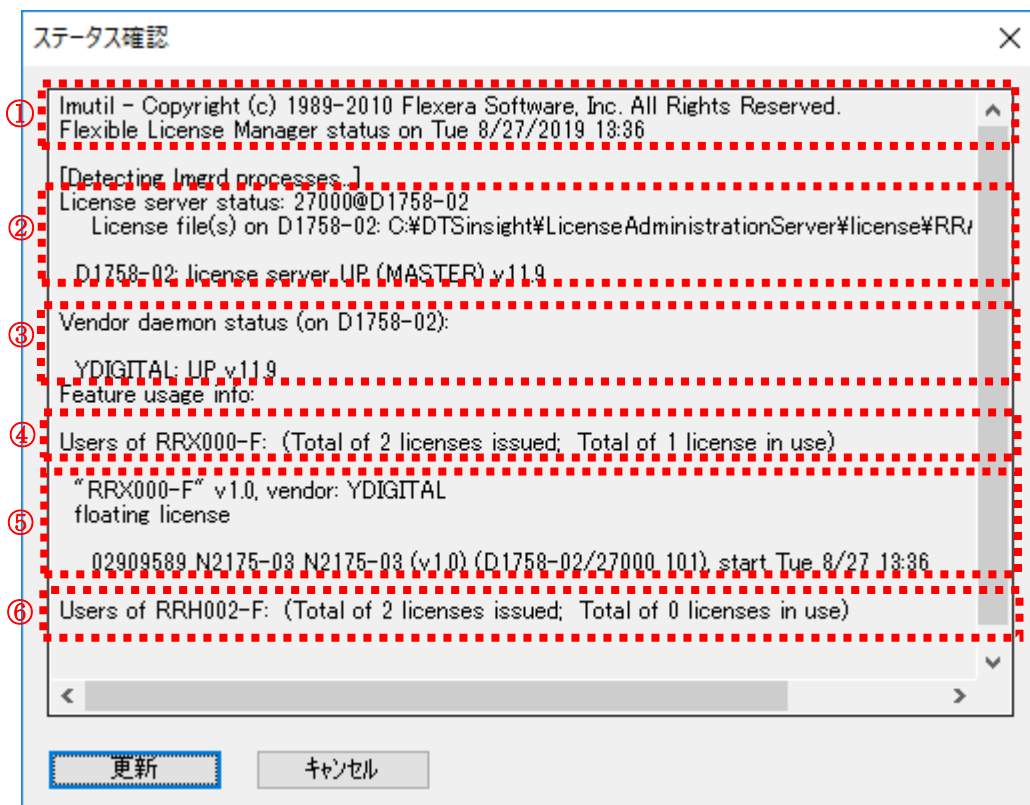
3.4 フローティングライセンスのステータス確認

フローティングライセンスのステータスは、LAS Yで確認します。以下の情報を確認できます。

- ・ フローティングサーバの稼働ステータス
 - ・ フローティングサーバに登録されているライセンスファイル
 - ・ ライセンスキー名称ごとのステータス（基本ライセンス、オプションライセンスなど）
- ① フローティングサーバのスタートメニューから [DTSinsight>License Administration Server>License Administration Server for YDC]を選択し、LAS Yを起動します。
 - ② [ステータス確認] ボタンをクリックします。



- ③ ステータス確認ダイアログで、フローティングサーバのステータスを確認します。



番号	説明
①	ライセンス管理に関するサードパーティツールに関する情報
②	ライセンス管理ツールが稼働するサーバ PC 名、ポート番号、ライセンスファイルパスに関して、ライセンス管理ツールのバージョンに関する情報
③	フローティングライセンスサービスが稼働するサーバ PC 名、サービスのバージョンに関する情報
④	Re:Zolver のライセンスに関して、登録されているライセンスキー名称、保有ライセンス数、使用中ライセンス数の情報 上記のダイアログの例では以下の状況になっています。 ・RRX000-F ライセンス 2ライセンス保有 1ライセンス使用中
⑤	ライセンスを使用しているユーザーの情報 (使用しているライセンス分が表示されます) 上記のダイアログの例は以下の内容になります。 この部分は、ライセンスが使用されていない場合は表示されません。 ・02909589 : ライセンスを取得したクライアント PC のユーザー名 ・N2175-03 : ライセンスを取得したクライアント PC のホスト名 ・(v1.0) : ライセンス種別のバージョン ・(D1758-02/27000 101) : フローティングサーバのホスト名/ポート番号、ハンドル番号 ・start Tue 8/27 13 : 36 : クライアント PC がライセンスを取得した日時
⑥	Re:Zolver のその他のライセンスに関して、登録されているライセンスキー名称、保有ライセンス数、使用ライセンス数の情報 上記のダイアログの例では以下の状況になっています。 ・RRH002-F ライセンス 2ライセンス保有 未使用 この他のオプションを購入されている場合は、行が追加されて表示されます。

3.5 注意事項 / 制限事項

本章ではライセンス管理ツール LAY、LASV を使用する上での注意事項、制限事項を示します。

3.5.1 リモートデスクトップでの使用について

ノードロックライセンスの場合、リモートデスクトップ接続では Re:Zolver はライセンスエラーになります。リモートデスクトップで Re:Zolver を使用できません。

3.5.2 ライセンスファイルパスについて

ライセンスファイルパスは、2Byte コード（漢字、ひらがな等）や半角スペースは使用できません。

例) "C:¥DTSinsight¥ライセンス" "C:¥DTSinsight License"

3.5.3 PC のシステム時刻の変更について

本ライセンス管理システムは PC のシステム時刻が不正に変更されているか確認を行います。システム時刻を未来の時刻に変更しないでください。一度でも変更されると、正しくライセンス認証が行えなくな

る場合があります。

3.5.4 フローティングサーバでのポート番号の指定について

フローティングサーバは2つのTCP/IPポートを使用しています。
デフォルトでは、1つは27000～27009の範囲から空いているTCP/IPポートを1つ使用します。もう1つはOSから指定されたランダムなTCP/IPポートを使用します。使用するTCP/IPポートを指定する場合は、以下の手順に従って設定してください。

- ① ライセンスファイルをテキストエディタで開きます。
- ② 1つ目のTCP/IPポートを指定します。
SERVER行の一番右端に以下のフォーマットでTCP/IPポートを指定します。
フォーマット： SERVER ホスト名 MAC アドレス ポート番号
以下の例では、TCP/IPポートの8224を指定しています。
例) SERVER YDC_SERVER 001E4FCF9FD9 8224
- ③ 2つ目のTCP/IPポートを指定します。
VENDOR行の一番右端に以下のフォーマットでTCP/IPポートを指定します。
フォーマット： port=ポート番号
以下の例では、TCP/IPポートの3225を指定しています。
例) VENDOR YDIGITAL port=3225
- ④ ライセンス管理ツール“LASYS”を起動します。
- ⑤ LASYSからサービスを再起動します。

3.5.5 フローティングサーバでのファイアウォールについて

ファイアウォールの設定によって、ライセンス管理ツールが正常に動作しない場合があります。正常にライセンス認証が動作しない場合はファイアウォールの設定を追加してください。
フローティングサーバ PC のファイアウォールの設定で、以下のプログラムに対するアクセスを許可するように設定してください。

LASYS のインストール先フォルダ¥lmgrd.exe

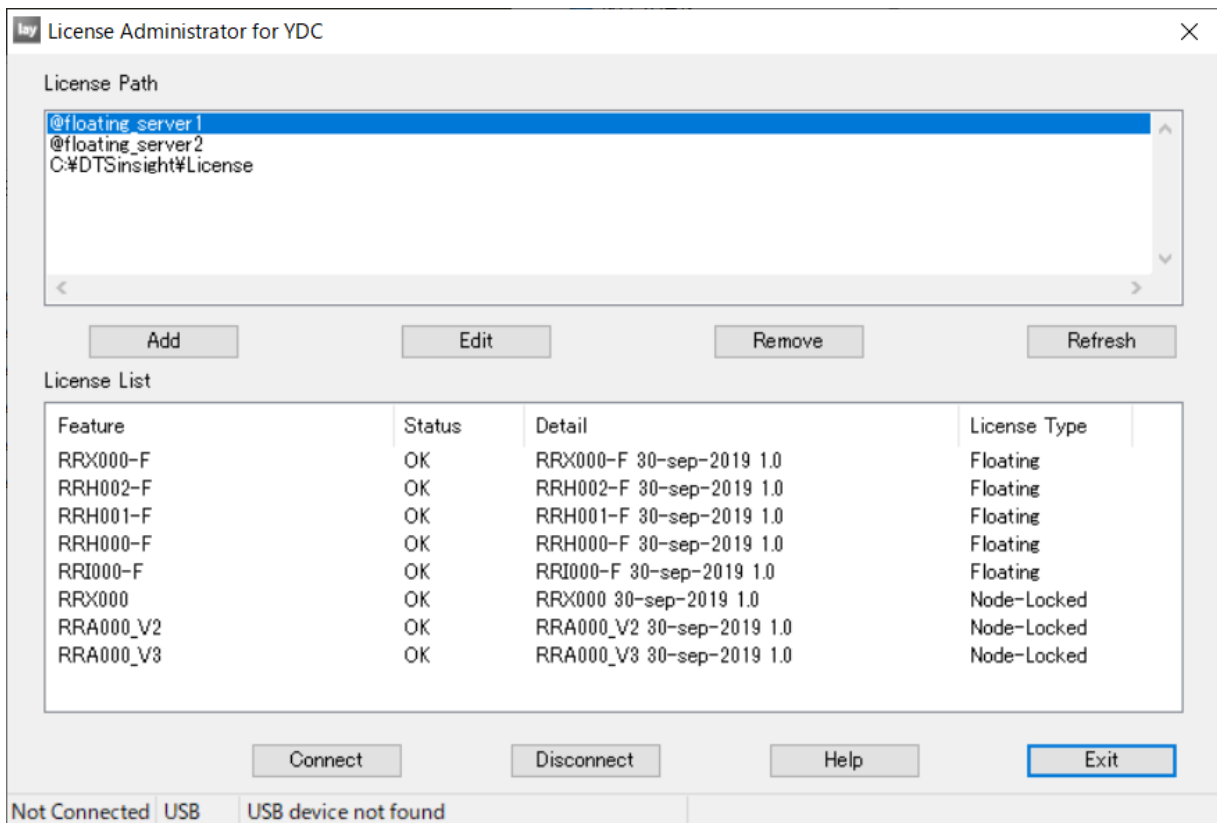
LASYS のインストール先フォルダ¥YDIGITAL.exe

フローティングサーバでポート番号の指定をしている場合は、指定したポート番号に対するアクセスを許可するように設定してください。

3.5.6 複数のライセンスインストールについて

2つ以上のライセンスをインストールしてご利用の場合、[License Path]の表示順 にライセンスを認証します。

例)



上記例の場合、以下の順にライセンスの認証を行います。

①“@floating_server1” → ②“@floating_server2” → ③“C:\DTSinsight\License”

3.5.7 環境変数を用いて登録したライセンスパスについて

環境変数を用いて登録したライセンスパスを使用する場合は以下の点にご注意ください。

- (1) lay.ini が LAY.exe と同じ場所に置かれていない、もしくは lay.ini 内で USE_ENV_PATH=FALSE と記述されている、あるいは USE_ENV_PATH キーが存在しない場合は、環境変数からライセンスパスを取得しません。
- (2) 環境変数に登録するライセンスファイルパスは、2Byte コード（漢字、ひらがな等）や半角スペースは使用できません。
例) “C:\DTSinsight\ライセンス” は使用不可
- (3) ユーザー環境変数とシステム環境変数の両方に環境変数を追加した場合は、ユーザー環境変数のみ適用されます。
- (4) 環境変数から登録したライセンスパスは、
“License Administrator for YDC” 上からの変更、削除ができません。
変更、削除する場合は、環境変数を変更、削除してください。

(4)-1 “License Administrator for YDC” 上から変更しようとした場合
環境変数から登録したライセンスパスを変更せずに、変更しようとしたライセンスパスが追加で登録

されます。

(4)-2 “License Administrator for YDC” 上から削除しようとした場合
Remove ボタンを押下しても、ライセンスパスは残ったままの状態となります。

- (5) 環境変数から登録したライセンスパスで、
“License Administrator for YDC” 起動時に認証 OK となるライセンスが一つでも含まれているパスは、
レジストリ
“HKEY_CURRENT_USER¥Software¥FLEXlm License Manager¥YDIGITAL_LICENSE_FILE“ に追加登録
されます。
認証 OK となるライセンスが一つも含まれていないパスは登録されません。

例)

- ①環境変数に“C:¥DTSinsight¥license;C:¥DTSinsight¥license2”を登録
 - ②“C:¥DTSinsight¥license”に有効なノードロックライセンスファイル RRA000N_RRX000N_1.lic を置く
 - ③“C:¥DTSinsight¥license2”に無効なノードロックライセンスファイル RRA001N_RRI000N_1.lic を置く
 - ④“License Administrator for YDC” 起動時に、レジストリ“HKEY_CURRENT_USER¥Software¥FLEXlm License Manager¥YDIGITAL_LICENSE_FILE“ に“C:¥DTSinsight¥license” が登録される
- (6) “License Administrator for YDC” は、ライセンスパス情報の追加、編集、削除、更新をするたびに、レジストリ“HKEY_CURRENT_USER¥Software¥FLEXlm License Manager¥YDIGITAL_LICENSE_FILE“と環境変数に登録されているすべてのライセンスパスのチェックを行うため、環境変数に複数のライセンスパスが登録されている場合、ライセンスチェックに時間がかかることがあります。